

記者発表資料

R3常陸河川国道管内無停電電源装置設置工事において 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」等 の試行を行います。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由とし、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R3常陸河川国道管内無停電電源装置設置工事」については、公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行を行うとともに、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、「機器単体費の揭示」等の試行を行うほか、配置予定技術者の専任を要しない期間を設定します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」の試行

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「機器単体費の提示」

本工事では、「無停電電源装置」に係る機器単体費を歩掛見積参考資料に提示する試行を行います。

③「配置予定技術者の専任を要しない期間」

本工事は、無停電電源装置の機器製作を要する工事であるため、機器製作期間については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないこととします。

④「世界的な半導体不足による工期延期等について」

本工事は、半導体不足の影響で機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成出来ない等、工期の延長が必要な場合には、工事の一時中止等の適切な措置を行い工期延期を実施します。

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
電話 029-240-4061 FAX 029-240-4081

副所長（道路）

たかはし さとし
高橋 哲

防災課長

たけいし はるお
武石 春夫

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R3常陸河川国道管内無停電電源装置設置工事
- (2) 工事場所：茨城県ひたちなか市枝川地先 外17箇所
- (3) 工 期：契約締結の翌日から令和5年2月28日まで（予定）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：受変電設備工事
- (6) 工事内容（概要）

無停電現設備工

屋外型無停電電源装置 製作・据付・調整 11台

屋外型無停電電源装置 据付・調整 7台

《機器単体費の提示について》

無停電電源装置について、機器単体費を歩掛見積参考資料に掲示します。

《配置予定技術者の専任を要しない期間について》

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資器材の搬入又は仮設工事等
が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者
の専任を要しないものです。

専任を要しない期間は、令和4年10月31日（月）までを予定しています。

《スケジュール》

- | | |
|----------------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | ：令和4年 2月 2日（水） |
| ○競争参加資格確認申請書、見積書提出期限 | ：令和4年 2月14日（月） |
| ○入札書・工事費内訳書提出期限 | ：令和4年 3月11日（金） |
| ○開札日 | ：令和4年 3月15日（火） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

